



10月新着本案内

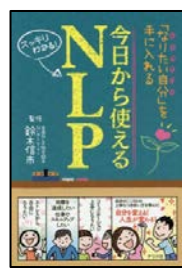
瀬木学園図書館

この10冊は本館にあります。



『Googleのサービス』

これ1冊で基本設定、便利ワザ、無料サービスなどが分かります。メール・クラウド・スケジュール・マップ・YouTubeすべて無料サービスです。基本を身につけ、Googleを使いこなしましょう。(007.58/グ)



『今日から使えるNLP』 鈴木信市監修

NLPとは「神経言語プログラミング」の略です。コミュニケーション・人間関係の改善や、目標達成、自分向上などを目的とした心理療法です。誰にでもできる「心の習慣」が分かりやすく解説されています。(146.8/ス)



『集団的自衛権の焦点』 松竹伸幸著

集団的自衛権とはどんな権利か？これまでなぜ違憲とされてきたのか？「武力行使」とは、戦闘行為と同じか？サイバー攻撃に対して自衛権は発動するのか？国際紛争の解決にあたり日本の役割は？など50の論点に迫ります。(323.14/マ)



『何かお手伝いしましょうか』 立花明彦著

街中や駅のホームなどで目の不自由な人が困っているのを見かけたことはありませんか？そのとき、どのようにしたらいいか分からず声をかけられなかった人もいると思います。この本を読めば、次はお手伝いができるはず！(369.27/タ)



『魅せる!エントリーシート・履歴書』

小宮山直子, 小宮山巧著

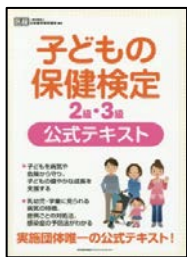
これまでの経歴や経験は変えられません。しかし表現方法によって「魅せ方」は変えられます。コツを掴んで魅せるエントリーシート・履歴書を書きましょう。(377.9/コ)



『食べもので「体の不調」を治す本』

山本竜隆, 石部晃子著

病気や不調を解消する食べものの情報が満載です。薬を飲む前に、病院に行く前に食べもので改善できたらいいですね。自分の体質に合う・合わない食べものも一目で分かります。(498.58/ヤ)



『子どもの保健検定2級・3級公式テキスト』

日本医学検定協会著

子どもの身体の特徴および多く見られる病気について正しい知識を得ること、子どもの健康を守ることを目的に、2014年から開始される検定です。(498.7/ニ)



『タブレットがまるごとわかる本 最新版』

タブレットを新しく買いたい人、買ったけれども使っていない人…この本で選び方も活用方法もマスターできます。iPad・Android・Windows全対応です。他にも数冊タブレット本が入りました。合わせて読んでみてください。(548.29/モ)



『アサイーボウル、フルーツボウル』

相川忍著

ハワイの朝食メニューの定番アサイーボウル。アサイーは栄養豊富で日本でも注目され始めています。美容食のアサイーボウルのレシピとフルーツボウルのレシピを紹介しています。(596.3/ア)



『コピペと言われないレポートの書き方教室』

山口裕之著

コピペばかりのレポートを書いていませんか？この本ではレポートが「コピペで不可」にならないための書き方が載っています。コピペではなく情報を正しく「引用」しましょう。(816.5/ヤ)

この6冊は分館にあります。



『「自分」で考える技術』 鷲田小彌太著

自分で考えるための「基礎知識」から、思考の力をつけるための「読書術」、自分の意見や主張をはっきり出すための「文章の書き方」を解説しています。情報があふれる現代だからこそ、自分で考える技術が大切です。(141.5/W42)



『大学生が感動した現代「生きがい論」講座』

菊池哲郎著

トップジャーナリストの教授が「生きがいがない」という学生たちに語った常識を覆す名講義です。様々な経験や知識から語られる講義は学生でなくとも興奮必至です。(304/Ki24)



『教師力を鍛えるケースメソッド123』

赤井悟, 柴本枝美著

学校では日々、様々な課題が生じます。その具体的な事例を挙げ、それぞれに対応するための基礎認識や原則・知識を解説しています。教員を目指す学生に役立つ実用書です。(374.3/A29)



『スポーツアナトミー』 塩田清二編

スポーツマンの視点に立った、運動と身体のメカニズム、身体運動の解剖生理学についてのテキストです。解剖と運動やパフォーマンスの場面をリンクさせたイラストや図が豊富で、理解しやすい内容です。(491.1/Sh72)



『育てて楽しむオリーブの本』 岡井路子著

スタイリッシュな雰囲気人気のオリーブの木。自分で育ててみませんか？植え方、育て方、病虫害対策から実の収穫と食べ方まで、まるごとこの本に載っています。品種図鑑も充実しています。(617.9/O38)



『エースと呼ばれる人は何をしているのか』

夏まゆみ著

芸能人もビジネスマンも成功する人は、同じことをやっている。と、著者はいいます。「働き方」「学び方」の心得とともに自分の良さを最大限に引き出す方法を教えてください。(769.1/N58)